

ギャンブル等依存症対策推進計画（案）に寄せられたご意見一覧

提出団体数：1団体 意見数3件

高知県子ども・福祉政策部障害保健支援課

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方	該当頁
1	ギャンブル依存症に対する「脳の病気」であるという理解は低く、ギャンブル依存症になるのは、本人の精神的な弱さによるものであるなど、偏見を持った周囲の目を気にして、当事者やその家族は悩みを相談することができづらい状況にあります。	ギャンブル等依存症が病気であるということがあまり知られておらず、周囲からも本人の意思の弱さや性格によるものだと誤った認識を持たれ、十分に理解されないことがあります。 そのため、県民全体への普及啓発として、ギャンブル等依存症フォーラム等の開催や、様々な媒体を通じた啓発により、正しい知識を普及するとともに、ギャンブル等依存症のおそれのある方や家族の方が早期に気づけ、相談できる環境を整えていきます。	P14.15
2	高知県には専門的な医療機関が少ないので、病気を疑っても治療に繋げることが難しい環境にあります。ギャンブル依存症は病気であることに対する理解と、医療機関の充実、また自助グループ（特に当事者に対する）への援助の強化に取り組んでいただきたいです。	医療提供体制については、専門医療機関の選定や適切な初期対応ができるように医療従事者等向けの研修を実施するとともに、地域の支援機関等から専門医療機関に円滑につなぐ体制を整えていきます。 自助グループへの支援については、自助グループからのご意見を伺いながら、経済的な支援だけでなく、相談機関や医療機関との連携強化や、活動の活性化などについて検討していきます。また、身近な地域で相談支援や回復に向けた支援等が受けられるよう、相談支援体制の整備や居場所づくりなど、市町村や支援機関、自助グループなどが連携した取組を支援していきます。	P18～ P21
3	山梨県のグレイス・ロードのような回復施設がつくられ、ギャンブル依存症である若者が高齢や過疎に悩む地域に貢献できるようになれば、地域の発展にも繋がり、良い関係が作れるのではないかと思います。 ※山梨県の回復施設グレイス・ロードは地元の運動会や祭りなどのイベントへの参加や地域のボランティア活動が認められ、地域貢献大賞の候補にあがったそうです。	ギャンブル等依存症の当事者やそのご家族が地域で孤立することなく安心して暮らせるよう、地域住民の支え合いによる地域共生社会の実現に向けて市町村とともに取り組んでいきます。	